

令和4年度 初倉中学校区地域包括支援センター事業実施評価票

資料2-4

	実施方針	目標	具体的な取り組み	実績	評価		課題・今後の方向性	
					取組 毎の 評価	方針 毎の 評価		
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整えます。	民生委員と協力し、高齢者の見守りを強化する。	①初倉地区民生委員との情報交換会(年2回) ②課題のある高齢者宅への同行訪問(随時)	①7月・11月に実施 ②都度訪問し、情報を共有。	◎	民生委員との協力は必要不可欠な為、今後も協働していく。	
			介護予防普及啓発講座を開催し、介護予防の意識を高める。	①介護予防普及啓発講座(年36回) 認知症予防、介護保険制度、感染症予防、口腔ケア、介護予防体操、消費者被害等	①12月20日現在11回	△	コロナ禍の中でも工夫して行っている地域活動はある為、来年度は目標を達成するよう努める。	
			しまとれ支援・新規立ち上げ。	①継続10ヶ所への支援 ②しまとれ出前講座の活用後、新規開催(旧初・井口)に繋げる。	①10ヶ所支援継続。 ②井口:あさがおの一室で開催 旧初:未達成	○	旧初については婦人部がメインとなり準備が進行したが、やはりコロナの影響で停滞している。	
必須項目	認知症施策の推進	認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるようチームオレンジが主体的に活動できるよう支援します。	地域住民が関心を持って参加できる講座を企画し、地域に出向き開催する。	①あんしんお話カフェ(オレンジカフェ)の開催(年6回) ②はつくら子ども食堂での読み聞かせ(年6回)	①国保年金課と連携し3回の開催。 ②月1回実施	○	①はコロナ禍でも開催可能な認知症カフェとして計画立案を行ったが②に認知症カフェ機能が備わってきたため目標数を下回った。来年度も子ども食堂と協力しながら、高齢者と子供が過ごせる場所、相談できる場所としてPRしていきたい。	
			若い世代に認知症の理解を広める。	①認知症サポーター(キッズサポーター)養成講座の開催 初倉小・初倉南小・初倉中学校(年1回ずつ)	初倉小学校4年生3クラス・学童 初倉南小学校4年生2クラス・学童 初倉中学校2月実施予定	◎	各学校に認サポが定着している。来年度以降も引き続き行っていく。	
			通い慣れた“ふれあい”への参加が安心して継続できるようにする。	①認知症サポーター養成講座の開催 初倉地域ふれあい(全9ヶ所)の代表者が受講(年1回)	8/25受講者11名で実施	◎	ふれあいのスタッフにも実施していきたい。	
選択項目	高齢者虐待防止と成年後見制度の利用支援	地域住民の権利擁護理解の促進に努めます。	高齢者虐待の内容と予防の周知。	①資料を作成し回覧板を利用し地区全戸配布(年1回)	12月全戸配布	◎	資料だけでなく講話等でも啓発していきたい。	
			成年後見制度の周知活動。	①地域住民に対し成年後見制度の勉強会を開催(年1回)	3月実施予定	◎	増田民生委員に講師を依頼済み	
	介護支援専門員に対する支援体制づくりと実践力向上支援	地域の介護支援専門員と連携し協力体制を強固にします。	ケアマネ連絡会を開催し情報共有を行い、困難事例にも協働し対応していく。	①ケアマネ連絡会の開催(年2回 成年後見制度勉強会・医療と合同による勉強会) ②個別ケア会議の開催(随時) ③地区のケアマネが地域ケア会議への出席(随時) ④ケアマネ個別支援(随時)	①医療:実施済み 成年後見:2月実施予定 ②適宜開催した ③月坂の地域ケア会議へ出席。 ④適宜行っている。	◎	◎	今後も地域のケアマネとの連携を強化し、クライアントを支援していく。
				多職種・他機関とのネットワーク構築	関係機関と連携し高齢者を支えます。	生活安心課と協力し特殊詐欺、交通事故予防の啓発活動を行います。	①地域活動内での講話(年3回)	9月に第1回目実施。 2回目2月に実施予定。
センターの認知度を高めるための周知活動	地域住民にとって身近な相談窓口になるよう広報活動を行います。	事業所や団体へ包括のPR、及び介護離職予防について口頭・チラシで行う。	①しまとれ・居場所・ふれあい・各講座開催時など(20ヶ所) ②コンビニ・医療機関・商店へチラシの掲示(10ヶ所)	①22ヶ所で口頭のみPRを行った。 ②介護離職のチラシを配布した。	○	○	現役世代にも周知していく必要がある。	